



2008.1.15
三国川ダム管理所発行

ダムっ湖

あけましておめでとうございます



さぐくん さぐり博士 りっちゃん

安全でいきいきした水源地域を目指して

三国川ダム管理所長 市山健二

明けましておめでとうございます。

三国川ダムの役割は、第一に治水・利水の役割を確実に果たすこととあります。第二には地域に開かれたダムとして当地域の活性化に寄与することと考えています。

来る2009年の「ときめき新潟国体」では、「しゃくなげ湖周回ロードレース(自転車)」が開催されます。昨年はこのイベントを盛り上げていくために「しゃくなげ湖畔を楽しむ会」の皆さんと共にダム周辺環境整備(花植え)を始めました。今年もこれを発展的に継続して参りたいと思っております。地域の皆さんにも是非協力を頂き共に盛り上げていきましょう。

いま、三国川ダムは、厳しい冬を迎え訪れる人も少なく閑散としていますが、満々と貯えた湖面に戯れる水鳥たちの天国です。

やがてまたすばらしい新緑の春が訪れます。この地域が水鳥たちの羽ばたきのごとく前進ある年となることを願っております。

②

昨年のダム地下見学者数 学校関係900人以上！一般見学約2700人計約3600人

— 昨年ダムを訪れた方は、22万人になりました —

平成19年監査廊見学者 (学校関係)

10月4日に、しゃくなげ湖のまわりの道路が1周出来るようになり、紅葉シーズンは平日でも大型バスが数十台来たこともありました。ダムに来られた方から、「まわりの自然の雄大さ美しさゆうだいと、岩を積み上げたダムの造形美ぞうけいびと、それにより出来た湖の織りなすバランスが良い」と聞いたことがあります。

	学校数	人数
小学校 (内南魚沼市内)	18 (16)	653 (567)
中学校 (内南魚沼市内)	4 (2)	131 (85)
高校	2	78
大学	3	90
合計	27	952

ダム地下に入っていた方は、来場者の1.5%位です。地下見学者アンケートは集計中ですが、一度来たことのある方から評判ひょうばんを聞いて地下見学

を申し込んだという方が多かったようです。「ダムっ湖」やいろんな場面でダム地下見学を紹介していくとともに、来ていただいた方にはダムの事をたくさん知って帰っていただけるよう、案内担当みんなで勉強していこうと思っています。



しゃくなげ湖畔で自転車ロードレースが開催されました



10月28日に、三国川ダム湖である「しゃくなげ湖」周遊道路しゅうゆうどうろを使い、自転車ロードレース大会が行われました。五十沢小学校の生徒しゅうゆうどうろえんどうさんが周遊道路沿道に植えたり手入れしてくださっている『沿道えんどうに植えた花』や、ボランティア団体「しゃくなげ湖畔を楽しむ会」の会員様や沿道に住んでおられる方の協力かざで飾った『プランターに植えた花』が大会に彩りを添えました。紅葉の一番良い見頃に開催された事と合わせて、選手の皆さんも楽しまれたのではないのでしょうか。来年2009年には、このコースで国体が開かれる予定になっていて全国から選手・関係者かんけいしゃが集まります。南魚沼と、しゃくなげ湖のイイ所をしっかりと見て帰っていただけるといいですね。

酒を蔵から出すと「蔵出し」ダムから出すと「ダム出し？」

ダムっ湖18号で紹介しました、昨年の5月28日にダムの地下に運び込んだ「日本酒」は、5ヶ月ぶりに10月24日に無事運び出されました。この企画の主催者「しゃくなげ湖畔を楽しむ会」の会員の方や、協力していただいた地元の2社の酒蔵さかぐらの方による試飲の結果、評判は良かったようです。ダムが、お酒を美味しくするために使われるなんて驚きですが、新たな南魚沼の名産品誕生となるか、今後も注目と応援よろしくお願ひします。



プランタ片付けを終えて

昨年の7月に「しゃくなげ湖畔を楽しむ会」と三国川ダムの周辺にお住まいの方約30名により、ペゴニアの花植えが行われました。この花植え会はしゃくなげ湖畔を楽しむ会が「ダム水源地域サポート事業」の助成を受けて行ったイベントです。300個のプランタにペゴニアを3株ずつ植えていき、来年行われる国体のロードレース会場となる三国川ダム周辺に配置しました。花の水やりは主にダム周辺に住んでいる方々に行ってもらいました。花はプランタから溢れんばかりに育ち、ダム周辺の沿道はとても賑やかになりました。



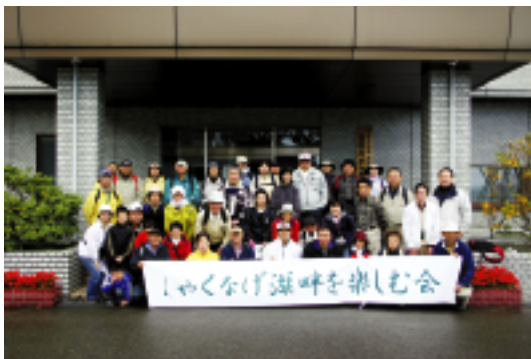
雪が降ると花は枯れてしまうため、11月11日にプランタの片付けを行いました。雨が降る中約15人の方が参加し、プランタと土と花を分けて片付けました。昨年は全部で300個のプランタに花を植えました、今年は1000個近くに増えるそうです。

ダムの周りが花でいっぱいになり、多くの方々に喜んでいただけるようになってほしいものです。

しゃくなげ湖紅葉ウォークに参加して

10月21日にしゃくなげ湖紅葉ウォークがありました。約40人の方が参加し、秋のしゃくなげ湖周辺の風景を楽しみながらウォーキングを行いました。また、山野草の先生に同行していただき、しゃくなげ湖周辺の花等について教えていただきました。当日はとても寒く、上流の山々の初冠雪を見ることができました。

私は春に行われた新緑ウォークも参加させていただいたのですが、春とは違う景色を見ることができとても感動しました。紅葉の見頃とは少しずれましたが、赤や黄色に染まる山はとてもきれいでした。



普段はしゃくなげ湖の周りを歩くことはほとんどなく、車で通り過ぎる程度ですので気にならなかったのですが、実際に歩いてみると多くの植物があることに気づきました。ノコンギク、ゴマナ、リンドウ、カワラハハコグサ等多くの植物を見ることができました。

ウォーキングが終わったらしゃくなげ湖畔開発公社でキノコ汁と採れたての新米をいただきました。キノコ汁には地元で採れるアマンダレというキノコが入っていて初めて食べさせていただきましたが、とても美味しかったです。

今年も新緑ウォーク、紅葉ウォークに参加してしゃくなげ湖周辺の自然を満喫したいと思います。

三国川ダムの豆知識 金城山反射板

三国川ダムに向かって五十沢を走っていくと、右手に見える金城山の上にキラキラ光る四角い板を見つけたことのある方はいらっしゃるでしょうか。先日、地元の中学生の方が見学にいらして「ずっと何に使っているのか不思議だった」と話していました。実は、金城山の上にあるのは「反射板」と言って、とても大事な役割をしている「板」なんです。

三国川ダムでは、電話やFAXはもちろん、上流でどれくらい雨が降ったかとか、今どのくらいの量の水を流しているのかなど、様々な情報を無線回線に乗せてやり取りをしています。

無線電波はアンテナで送り受けをするのですが、三国川ダムは山々に囲まれているため、相手のアンテナが山にさえぎられて直接通信ができません。

そこで「反射板」に電波を当てて反射させる事によって、無線通信網を経由して全国と通信ができるというわけです。

この無線回線のおかげで災害で電話や携帯電話が繋がらなくなっても大事な連絡をしたり、ダムのいろんな情報をやり取りすることが出来るのです。

しずかに、山の頂上にたっている「反射板」ですが、働き者ですので、今度三国川に来られるときには探してみてください。



三国川ダムの冬の様子をお知らせします。



おだ
晴れた日はこんなに穏やかな様子ですが…



ふぶ
湖に向かって吹雪くため湖面は
おお
雪に覆われてしまいます



てんば もうふぶき
一変、雪が降るとダム天端は猛吹雪。フロントガラスに吹きつける雪でワイパーは効かず、
目の前は真っ白になりとても恐いです。ポールを頼りにたどり着いた時はもうグッタリ！



ふぶき こお
吹雪で凍り付く正面玄関



げんとう た
厳冬の中、木々も寒さに堪えて、
春が来るのをジッと待っています

編集後記

「ダムっ湖」も本誌で第20号。日常で「20回」という場に当たると、人間の「成人」が想い浮かび、重ね合わせて考える時があります。どんな事があったのだろうと、関係もなく思うのですが、何事にも「20回」というのは、成長に達するものでもあり、また将来のための準備期間でもある、特別な数字だなと思いました。

これからも「ダムっ湖」は、充実した情報が皆様に楽しんでいただけます様、頑張ってくださいますので、引き続きよろしくお願ひします。（編集部一同）

◆編集・発行◆

国土交通省北陸地方整備局
三国川ダム管理所

〒949-6741
新潟県南魚沼市清水瀬686-59
TEL (025) 774-3015
FAX (025) 774-3092
<http://www.hrr.mlit.go.jp/saguri/>



シャッピー